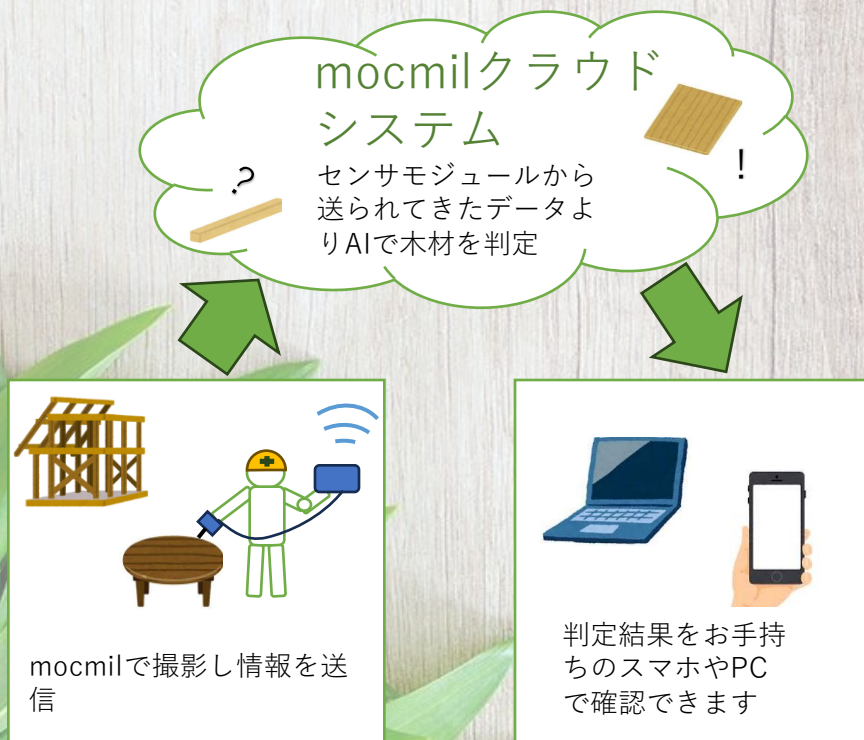


木材の 「匠」を 手元に

作業フローイメージ



画像解析AIとセンサにより木材を判定する **mocmil**（モクミル）

プロジェクトの背景



我々は木材形状判定システムの共同研究を手伝う際、木材は種類や強度、弾性、木目により使用用途が異なるため価格が上下することを学びました。日本の森林資源が年々増えている一方で木材を判定できる職人は**減少傾向**にあり、判定をしきれず木材流通の中で**捨てられて**しまう問題があります。そこで判定結果を数値化し誰でも木材を区分けできるようになれば、高品質の材がより活用されると考えました。

サービス内容



手軽に持ち運べ、インターネットの通じるところならどこでも使用することのできる木材検査機（以下、mocmil（モクミル））です。利用者は調べたい木材にmocmilのセンサを取り付け、接写カメラで写真を撮ります。するとその木材の品質が利用者のスマホまたはPCに届くので確認できます。mocmilはインターネットサイトまたは木材産業機器製造会社から購入し、1年間のmocmilクラウドサービスをユーザー登録することで使用できます。我々はmocmilクラウドサービスとしてセンサモジュールから得た情報をクラウドにアップロードすると判定結果を返すシステム利用料金が収入になり、mocmilの製造、販売についての収支はエクスクルーシブ契約した企業が主軸となってビジネスします。

技術、ビジネスの特徴



mocmilの技術の特徴は、木材を画像処理をAIによって行いその判定をサポートするために水分量を計測するセンサや、ガス種類検知などを一つのセンサモジュールにしてデジタル化し、どんな光源にある木材でも正確に撮影するデバイスと、AIによる画像判定とデジタル化した木材の情報から木材を特定するクラウドシステムとの複合的なサービスです。ライセンスビジネスの特徴は、木材の産業機器製造業者とサブライセンス契約をし、木材加工業、家具屋などのライセンサーを獲得、販売します。ライセンサーの販売実績とmocmilクラウドサービスのユーザー情報を突合することで、違法アクセスを防ぎつつ、購入事業者のライセンス数をカウントします。そしてmocmilを使えば使うほどソフト1本あたりのライセンス料が安くなり、より手頃に購入できるライセンス体系の構築を計画しております。